

日本史研究推進委員会

共同研究「神奈川における西洋文明との 出会い」経過報告

金井高校 矢野 慎一

本年度の日本史研究推進委員会は、昨年度に引き続き共同研究テーマ「神奈川における西洋文明との出会い」に基づいて研究活動を行った。研究開始当初に比べると、月例会でのレポート発表や資料提供なども徐々が増えてきており、成果があがりつつあると思われる。

【月例会】

本年度は、七月と二月を除いて毎月一回開催された。主として推進委員の勤務校を会場として、各推進委員が持ち寄るレポートや資料をもとに、活発な研究・討議が行われた。四年目となった世界史推進委員会との合同研究会は、厚木高校で六月に実施された。また、神奈川県立公文書館で行われた九月例会では、収蔵庫や古文書修復室、写真室などの施設を見学することができた。

【研究発表会】

本年度は、七月に全国歴史教育研究協議会神奈川大会が開催され、本委員会も発表者や役員として全面的に協力した。

秋と春に行われた研究発表会では、次の四本の発表が行われた。

○秋季研究発表会（一〇月二四日）横浜市開港記念会館

『建築からみた近代史』横浜と西洋館』

木村 芳幸（横須賀工業高校）

『壇上で脚を組んだ女性視察官』上溝高女のカルチャーショック』

白川 重敏（上溝高校）

○春季研究発表会（三月二二日）栄光学園高校

『幕末開港期における外国人遊歩について』日米修好通商条約の

教材化』 矢野 慎一（金井高校）

『明治期における外国人保養地箱根の成立』

児玉 祥一（厚木高校）

【夏季巡検】

毎年恒例の夏季巡検が、八月に実施され、今年度は横須賀方面を訪ねた。午前中は、横須賀市自然・人文博物館において、幕末から明治はじめの横須賀造船所や近代建築などについて、学芸員から概説的な説明を受けた。その後、常設展示を見学した。午後は、猿島に渡り、旧陸軍の要塞跡を見学した。坂井久能（県立神奈川総合高校）の案内で、煉瓦積みのかげ部や高射砲のコンクリート製砲座などを見学することができた。そして、最後に三笠公園内の記念艦三笠の艦内を見学した。

最後になったが、月例会の会場をご提供いただいた高校名と施設名をあげて感謝したい。開催順に、港南台高校・相模原高校・厚木高校・神奈川県立公文書館・藤沢西高校・七里ヶ浜高校・高浜高校である。今後とも、ご理解とご協力を賜りたい。